

ボランティア養成セミナー

主 催	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家
趣 旨	国立赤城青少年交流の家の自然環境を活かした様々な体験活動や学習を通して、青少年教育施設における青少年の体験活動を支えるボランティアとしての必要な知識・技術について研修する。
対 象	青少年教育施設におけるボランティア活動に興味・関心のある高校生以上の方
定 員	45名（先着順）
日 時	令和7年5月31日（土）～6月1日（日） 1泊2日
会 場	国立赤城青少年交流の家（群馬県前橋市富士見町赤城山 27）
アクセス	【公共交通機関】 （JR）東京方面からの場合 上野駅発 6：15 前橋駅着 8：21 小山方面からの場合 小山駅発 6：30 前橋駅着 8：04 【自家用車】 前橋市街地より 30分 または 関越自動車道赤城 IC より 20分
参加費	3,500円 内訳：食事代（朝食1回・昼食1回・夕食（野外炊事）1回）、保険料 ※1日目（5月31日）の昼食はご持参ください。
募集期間	令和7年5月8日（木）まで。締切日前でも定員に達し次第締め切ります。
応募方法	国立赤城青少年交流の家ホームページ（ https://akagi.niye.go.jp/ ）から申込み
持ち物	<input type="checkbox"/> 1日目昼食 <input type="checkbox"/> 室内および野外での実習（野外炊事を含む）や体験活動に適した服 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 防寒着 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 洗面用具 ※ドライヤーは備え付けのものがありません。 ※その他必要と思われるもの（ <input type="checkbox"/> 着替え、 <input type="checkbox"/> 常備薬など）をお持ちください。
個人情報等の取扱い	ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット（ソーシャルメディアサービスを含む）等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物やインターネット（以下、「印刷物等」）に記事・写真を掲載することもあります。なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人又は保護者から削除の依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、機構発行の印刷物並びに機構以外の者が発行・運営する印刷物については対応できかねますのでご了承ください。
そ の 他	○研修終了後、希望者は「国立青少年教育振興機構法人ボランティア」（以下法人ボランティア）に登録できます。 ○法人ボランティア登録希望者は、参加費とは別にボランティア活動保険加入料 350円をご用意ください。すでにボランティア活動保険に加入されている方は不要です。 ○講師やプログラムは予告なく変更する可能性があることを予めご了承ください。

◆主な日程

5月31日(土)		6月1日(日)	
9:15～9:45	受付	7:00～7:15	朝のつどい
9:50～10:00	開講式	7:20～8:00	朝食(食堂)
10:10～10:40	講義・演習「ボランティア活動の技術」 アイスブレイクの実際	9:00～12:00	講義・演習「安全管理」(救命救急法)
10:45～12:15	講義「青少年教育」	12:00～13:00	昼食(食堂)・休憩
12:30～13:30	昼食(持参弁当)・休憩	13:00～14:00	講義「青少年教育施設の現状と運営」
13:30～15:00	講義「ボランティア活動の意義」	14:15～15:15	説明「法人ボランティア制度について」
15:30～19:30	講義・演習「ボランティア活動の技術」 野外炊事指導	15:15～15:45	閉講式
20:00～21:00	説明「青少年教育施設のボランティア活動」		解散
	入浴・就寝		

◆内容及び講師

領域	内容と形態	時間	講師または担当
青少年教育	【講義】青少年教育 ・今日の青少年教育の課題や発達段階に応じた体験活動の必要性を理解します。	1.5	大東文化大学 教授 中村 正雄 氏
ボランティア理解	【講義】ボランティア活動の意義 ・ボランティア活動の意義について理解するとともに、ボランティア活動における心構えや留意点を学びます。	1.5	大東文化大学 教授 中村 正雄 氏
青少年教育施設におけるボランティア	【説明】青少年教育施設のボランティア活動 ・先輩ボランティアの体験談を聞き、青少年教育施設におけるボランティア活動内容を理解します。	1	国立赤城青少年交流の家 ボランティア・コーディネーター 法人ボランティア
	【説明】法人ボランティア制度について ・法人ボランティア登録制度について理解します。	1	国立赤城青少年交流の家 ボランティア・コーディネーター
	【講義】青少年教育施設の現状と運営 ・青少年教育施設の教育機能や役割、運営について理解します。	1	国立赤城青少年交流の家 職員
	【講義・演習】ボランティア活動の技術 ・アイスブレイクを実際に体験することで、アイスブレイクのもつ意味や基礎技術を学びます。 ・野外炊事の実習を通して、体験活動における安全管理や基礎技術を学びます。	4	国立赤城青少年交流の家 職員 法人ボランティア
	【講義・演習】安全管理(救命救急法) ・胸骨圧迫やAEDの使用方法など救命救急に必要な知識や技術について演習を通して学びます。	3	前橋市消防局北消防署 白川分署 署員

◆お問い合わせ先

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家
 TEL:027-289-7224 FAX:027-289-7226 E-mail:akagi-kikaku@niye.go.jp
 URL:https://akagi.niye.go.jp/ 担当:企画指導専門職